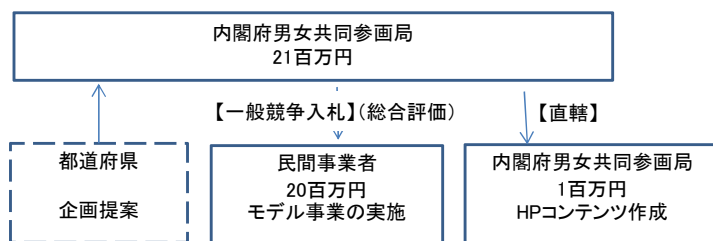


平成25年行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	女性活躍促進に向けた取組に必要な経費		担当部署	男女共同参画局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度～		担当課室	総務課 推進課	総務課長 東 潔 推進課長 小林 洋子		
会計区分	一般会計		政策・施策名	64 女性の参画の拡大に向けた取組(政策14-施策)			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等	我が国の若者・女性の活躍推進に向けた提言(平成25年5月19日第8回若者・女性活躍推進フォーラム)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	女性の活躍促進による先進的な事業を地域で行い、地域に及ぼす影響や課題、効果の把握を行う。その後、地域における効果的な取組について広く情報発信することにより、女性活躍促進に向けた取組を促進する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>女性活躍促進モデル事業は、都道府県における女性活躍促進事業として、3都道府県が以下の事業を選択して実施し、事業が地域に及ぼす影響や課題、効果等を内閣府へ報告する。それを、内閣府において地域における効果的な取組について広く情報発信することで、地域における女性活躍に向けた取組を促進するもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性の活躍促進の取組に向けた企業への働きかけ、支援事業 ・女性の活躍促進に向けた地域におけるセミナー等開催事業 ・ロールモデル、メンターに関する事例収集・情報発信事業 <p>地域の女性活躍促進事業は、地方公共団体(主に市町村)80団体程度が、地域の実情に応じて、経済団体等と連携し地域の中小企業等における女性登用に向けて、地域ぐるみで取り組んでいくことが必要であり、こうした地方公共団体が行う取組みを支援することにより、草の根からの女性活躍を促す。【26年度要求】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業の経営者を対象としたセミナーの開催 ・キャリアアップ研修など管理職を目指す女性支援 ・創業を目指す女性の相談会の開催 						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算				21	101
		繰越し等				0	
		計				21	101
	執行額						
	執行率(%)						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	地域における女性活躍促進施策の取組状況		成果実績	施策の取組状況の確認			
			達成度				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	女性活躍促進事業を行っている都道府県		活動実績 (当初見込み)		()	()	()
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	20	21	「新しい日本のための優先課題推進枠」80			
	情報処理業務庁費	1	0	・地域の女性活躍推進事業			
	補助金	-	80	地方公共団体が、地域の実情に応じて、経済団体等と連携し、地域の中小企業等における女性登用に向け、地域ぐるみで取り組む地方公共団体を支援することにより、草の根から女性活躍を促すため。			
	計	21	101				

事業所管部局による点検					
	項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	生産年齢人口が減少していく中で、意欲ある女性が活躍できる環境を整備していくことは、労働力確保の観点のみならず、経済を活性化する観点からも不可欠な課題となっている。このため、女性の活躍促進による先進的な事業を都道府県で行い、地域に及ぼす影響や課題、効果の把握、情報発信を通じて、効果的な取組を全国に普及していく必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	—	平成25年度新規事業のため		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。	—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	—			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	—	平成25年度新規事業のため		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	—			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—			
	事業番号	類似事業名			所管府省・部局名
点検結果	生産年齢人口が減少していく中で、労働力確保の観点のみならず経済を活性化する観点からも、意欲ある女性が活躍できる環境整備が不可欠である。本事業は、女性の活躍促進による先進的な事業を都道府県で行い、地域に及ぼす影響や課題、効果の把握、情報発信を通じて、効果的な取組を全国に普及するものであり、今後の事業実施に際しては、効率性や有効性に十分に配慮していく。				
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	事業の実施にあたり、必ず競争性を確保すること。また、事業の効果的な実施に努め、経費の内容を精査し適正な執行を図ること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	所見を踏まえ、適正な事業の実施、予算の執行に努めたい。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	—	平成23年	—	平成24年	新25追加-0006

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックごと
 に最大の金額が
 支出されている者
 について記載す
 る。費目と使途の
 双方で実情が分
 かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					